

研修会名：最新のエビデンスを明日からの臨床につなげる
(リハビリテーション栄養)

<研修概要>

日時： 2019年5月26日(日)
時間： 研修4 9:00~12:00
会場： 徳島文理大学 23号館 203教室

大会参加費のみ

研修形態	講義のみ		
予約申し込み	不要	予約定員	0人
予約費用	0円		
無料聴講	あり	聴講定員	140人

講師： 吉村 芳弘 氏 (熊本リハビリテーション病院 医師)

<研修内容>

臨床研究はデータ収集の前に研究の質の9割が決まる。適切な研究デザインや統計解析の選択にも習熟する必要がある。また、臨床研究は医療者の人生を豊かにする。研究することで研究者自身の臨床の視点が広がる。患者に密に接していれば研究のアイデアがさらに増える。研究は臨床への意欲をかきたてる。

リハ栄養の概念や言葉は、一般診療においても広く用いられつつある。リハ領域や栄養領域の学術集会でもリハ栄養関連の演題数が増加している。リハと栄養の距離は以前より格段に近づいたと考える。一方で、この領域の存在意義ともいえるエビデンスは十分とは言えない。リハ栄養に限らず、ある領域のエビデンスを質、量ともに充実させ、国内外で発展させ続けるためには臨床研究の推進が極めて重要である。

本講演では臨床研究の why, what, how について、リハ栄養を基軸として最新的话题を提供する。